

1. 水稻等の作付見込み

農林水産部企画調整室 076(225)1612

- **令和6年は地震前の8割にあたる2,100haで営農を再開できたが、奥能登豪雨で約400haの農地に土砂や流木が堆積するなどの甚大な被害が発生**

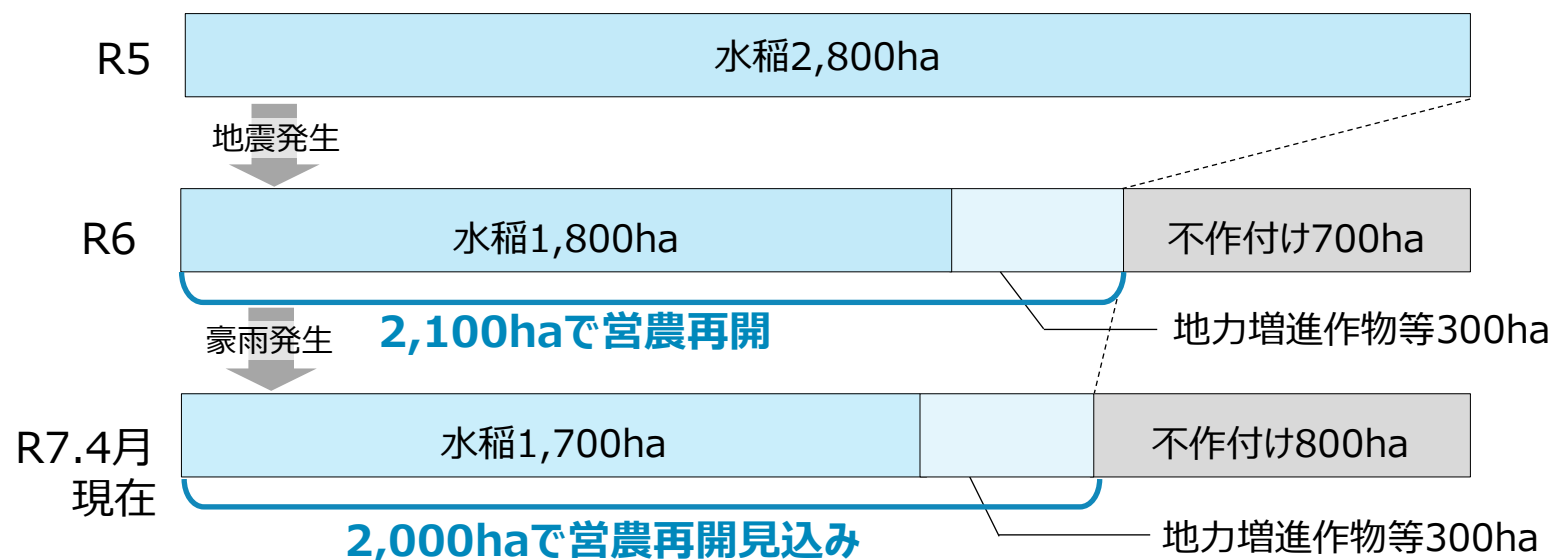
→ 土砂等の堆積による被害・・・農地：約400ha、用排水路：約90キロメートル、取水設備：約150カ所

- 豪雨災害後、営農再開への大きな影響が懸念されたが、「奥能登営農復旧・復興センター」を中心に農業者や建設業者と調整し、農地や水路等の復旧を精力的に進めてきた結果、

→ 豪雨により土砂や流木が堆積した農地約400haのうち、約170haが復旧見込み

現時点における**令和7年の営農再開面積は、令和6年とほぼ同等の2,000haの見込み**

【水稻作付面積】



【復旧の状況（輪島市町野町鈴屋地内）】



復旧前



復旧後

2. 不作付地の解消に向けた今後の対応

農林水産部企画調整室 076(225)1612

- **今春の水稲作付後も**引き続き、「奥能登営農復旧・復興センター」が中心となり、農業者や建設業者と調整し、農地等の復旧を進めるとともに、麦やソバ等の作付を促し、**営農再開面積のさらなる上積みを図る**
- 復旧には相当の期間を要するため、農業者の経営支援など、**生業再建に向けた取り組みを加速**

生業再建に向けた主な取り組み

◆ 農地の復旧まで農業者の経営を支援

農家の収入確保を図るため、

- ・農家が自ら復旧工事を行う「直営施工」を支援
 - 農家に対する説明会の開催、直営施工の計画書作成補助、重機講習会や現場実演会の開催
- ・代替農地での営農再開時の地代などかかり増し経費を支援

◆ 被災した農林水産業用機械・施設の修繕・再取得を支援

→ 補助率 9/10 ※地震を受け復旧した機械等が豪雨で再び被災した場合、豪雨分の補助率は10/10

◆ 労働力不足の解消に向けた取り組み

農業機械のオペレーターや、農林水産業ボランティアなどを被災地へ派遣

農家による
直営施工



ボランティア
による泥あげ

特別展の関連事業として、**能登の復興支援**と、**子どもたちの地域文化を守る心を育む**ため、東京国立博物館が、**七尾出身の絵師・長谷川等伯の国宝「松林図屏風」の複製品を活用した訪問授業**を実施

・実施校： 輪島、七尾、志賀の小中学校(計16校)

輪島市：七尾特別支援学校輪島分校

七尾市：朝日小、和倉小、小丸山小、中島小、天神山小、
東湊小、石崎小、能登島小、山王小、田鶴浜小、
七尾東部中、中島中、能登香島中、七尾中

志賀町：富来中

・期 間： 9～11月

・内 容： 国宝「松林図屏風」の高精細複製品を使って授業（45分～1時間半程度）

①自分だけの松林図屏風を制作 ②対話しながら松林図屏風を鑑賞



国宝「松林図屏風」(長谷川等伯・東京国立博物館所蔵)

特別展「ひと、能登、アート。」

東京国立博物館をはじめ、在京の美術館・博物館が所蔵する名品を集めた特別展を開催 ※3館合同での展覧会開催は初

県立美術館： R7.11.15～12.21 国立工芸館： R7.12.9～R8.3.1 金沢21世紀美術館： R7.12.13.～R8.3.1

県と、クラブツーリズム(株)、(株)Gakkenが連携し、首都圏の子どもたちが、能登を巡りながら被災地の現状や、復興の過程を学ぶことができる**夏休み親子向け「震災を学ぶ旅」を実施**



○県は、のと里山空港を活用したツアーを企画

○クラブツーリズムは、旅行商品として、**本日（4月17日）より販売**

開催：7～8月に計7回開催

対象：首都圏の小学生と保護者

定員：各回 親子20組40人

日程：1泊2日（能登で宿泊）

のと里山空港(**震災の説明**)、黒島漁港(**海岸隆起**)、能登金剛遊覧船(**津波被害**)、

休暇村千里浜(天体観測、宿泊)、コスモアイル羽咋(NASA宇宙船)、能登島(のとしま水族館、**漁業への影響**)

旅行代金：約11万円～（親子2人の場合）



Gakken

未来をつくる、学びをつくる。

株式会社 **Gakken**

○(株)Gakkenは、ツアー参加者が震災について学ぶ教材として震災学習プログラム（冊子）を作成
⇒**参加者は能登を巡りながら、冊子に感想などを記入することで自由研究を完成させる**

いしかわ動物愛護センターの開所 1 周年

- 動物とのふれあい教室など各種イベント等により、**約3万人が来所**
- 保護した犬や猫の治癒や訓練にも取り組み、**395頭を新たな飼い主へ譲渡**
- 北陸最大級のドッグランも**約2,000件の利用**があり**好評**

現在の統計方法となった
平成22年度以降
過去最多



動物愛護精神を育むための主な取り組み

- ・犬の飼い方教室：計18回開催
- ・猫とのふれあいイベント：計7回開催
- ・子どもと犬のふれあい教室（小学校への出前講座）
：8校（137名参加）
- ・ボランティア育成講習会：計9回開催（163名参加）



いしかわ動物愛護センター
ホームページ



いしかわ動物愛護センター
Instagram

いしかわ動物愛護基金の設置



- 動物愛護のさらなる気運醸成を図るため、本県の動物愛護の取り組みに寄せられる寄附金の受け皿として、**「いしかわ動物愛護基金」を新たに設置**
- 令和7年4月1日～ ふるさと納税専用ポータルサイト、県ホームページ、県庁、東京・大阪事務所で、本県の動物愛護の取り組みに賛同する県内外の方々からの寄附を広く募集中



石川県ホームページ
いしかわ動物愛護基金への寄附について

基金の活用

市町、獣医師会、ボランティア団体等の意見を聞きながら、今後、実施事業を検討

※事業内容・実施時期は、寄せられる寄附金の状況を見ながら検討
(例)

- ・飼い主のいない猫の不妊去勢の推進など、引取数を減らすための取組
- ・虐待を受けた犬猫を人に馴らす訓練など、譲渡の推進につながる取組
- ・動物愛護の推進を行うボランティア団体の活動支援 など



動物愛護センターに保護される犬・猫

さらなる動物愛護の推進に取り組む

「兼六園デジタルアーカイブ」の公開



昨年的一般開放から150年の節目となることを記念した行事の一環として、**県が所蔵・管理する古い写真や映像などをデジタル化し、本日(4月17日)からWebで公開**

公開資料

◆ 絵葉書・写真等 (約1千点)

明治～昭和時代の兼六園



絵葉書(徽軒灯籠・明治～大正期)



写真(唐崎松・昭和期(S50))

◆ 動画

樹木の剪定、
雪吊り作業 など



雪吊り作業



兼六園デジタルアーカイブ (TOPページ)

<https://kenrokuen-archive.pref.ishikawa.lg.jp>

現在と過去を見比べながら園内を散策



(スマートフォン上の地図)



茶店通り (現在)



茶店通り (明治期) の絵葉書

公園緑地課
076(225)1771